

TRICOLOR

Top 決勝戦応援企画!!

3月25日(日)はTopチームが「県社会人選手権大会」または「横浜市民大会」いずれかの決勝戦に出場します。

前者の大会は現在開催中で現時点(3/3)であと3連勝すれば決勝進出となり、その場合はこちらの試合が優先されることとなります。

一方、後者の大会はすでに決勝進出を決めており、「県社会人選手権」で決勝に進出できなかった場合に行われることとなります。

当日は「県のNo.1」が「市のNo.1」どちらを目指すことになるかはわかりませんが、Topチームにとって本当に久しぶりに「決勝」の晴れ舞台であることは間違いありません。

そこでこの日はクラブ全体で「Topチームを応援する日」にしたいと思います。詳細は下記のとおりですので、クラブ員の皆さまには是非会場に足を運んでいただき Top チームへ熱い声援を送って欲しいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、当日どちらの試合になるかは遅くとも3/21(水)には決まります。決定次第、皆さまにはメールおよびクラブ員専用掲示板にてご案内いたします。

県社会人選手権の場合

会場	県立保土ヶ谷公園サッカー場 「横浜駅」西口より 市営バス 25系統、保土ヶ谷駅西口行きで30分、「保土ヶ谷野球場前」下車 相鉄線「星川駅」より 市営バス 25系統、保土ヶ谷駅西口行きで7分、「保土ヶ谷野球場前」下車/または駅から徒歩で15分 有料Pあり
Kick Off	11:15(80分ゲーム)
対戦相手	未定

横浜市民大会の場合

会場	三ツ沢公園陸上競技場 地下鉄三ツ沢上町駅下車 徒歩15分/横浜駅西口より市営・相鉄バス「三ツ沢総合グラウンド入口」下車
Kick Off	13:15(70分ゲーム)
対戦相手	SALVATORE1991
注意事項	当日隣接の球技場にて19:00~Jリーグヤマザキナビスコカップ「横浜FC×ジュビロ」の試合が開催されるため、正面駐車場は関係者専用となり、近隣の有料Pも混雑すると思われるのでご注意ください。

大会・公式戦結果

Top

【県社会人選手権】

決勝トーナメント2回戦

vs 下和田クラブ 1-0

Junior Youth

【クラブトータルリーグ】

vs フットワーククラブ 0-4

vs コミュニティFC 0-7

小6

【クラブトータルリーグ】

vs フットワーククラブ 0-7

vs コミュニティFC 3-4

今、グラウンドでは・・・

Top

【県社会人選手権】

県社会人選手権が始まりました。ノックアウト方式のトーナメント戦。決勝トーナメント2回戦からの出場となったかながわクラブの初戦は、雨で気温が低くピッチコンディションも最悪の中行われました。

ボールが転がらないピッチでできることは限られ、どちらが勝ってもおかしくな

い展開でしたが、勝負を決めたのは悪条件の中でも発揮できる正確な技術でした。

この試合唯一のゴールは、堀田選手の正確な落としに後ろから走りこんだベテラン柳澤選手が約 25m のロングシュートというプレーから生まれました。

その瞬間に2人が共有したイメージ、集中力、そしてこのシーンを見る限りピッチ不良など感じさせない2人の正確な技術。どれをとっても素晴らしいものでした。改めて「どんな状況でも発揮できる正確な技術」の重要性を感じさせられたプレーでした。ユース・ジュニアユースあたりの選手たちにはぜひ学んで欲しいプレーでもあります。

さて、結果は1-0。苦しい試合ではありましたが、新体制になって初の公式戦で勝利できたことはチームにとって良かったと思います。(二木 昭)

【フェスティバル】

昨年 Top チームは、上記公式戦と日程が重なり「かながわフェスティバル」は残念ながら不参加となってしまいました。

今年は2年ぶりに参加させていただく予定です。「予定」というのは、3/21(水)は県社会人選手権の予備日になっている関係で「予定」とさせていただきます。でも大丈夫でしょう。皆さん、一緒に楽しい時間を過ごしましょう!!ぜひ、多くの方に参加して欲しいと思います。よろしくお願いします。

(樋口 圭太)

YOUTH

前号で決定力不足の解消を掲げてトレーニングに臨む旨を書きましたが、実際に現在はひたすらシュート練習を行っています。

しかし、まず大きな問題点は「狙ったところに正確に蹴りこむ技術」が非常に低いことです。シュートの局面を分析すると、ゴールを見て、どこにどのようなボールを蹴りこむかを決める。ボールを見て、正確にそこに蹴りこむ。となります。もちろんこの一連の動作を、厳

しいプレッシャーのかかった中でほんの短い時間に行うのですが、いくら狙いが良くても正しくても、狙ったところにボールが飛ばなければ話になりません。こういところで技術の重要さを再認識させられます。

ボールを自由自在に操れるに越したことはありませんが、それが難しくても、せめて「狙ったところにボールを蹴る技術」「狙ったところにボールを止める技術」の精度はもっと高めなければ話になりません。

技術はクラブのトレーニングだけではやすやすと身につけません。毎日ボールに触れる必要があります。時間がなければ、机の下にボールを一つ置き、勉強中でも絶えずボールを足で転がしているだけでもいいのです。

年末の X'mas Festa に来てくださったフリースタイルサッカーの大浜さん。今では自由自在にボールを扱い多くのイベントに出場しているそうですが、こんなことを始めたのは2年前。それまではサッカーなどやったためしがなく、ずっとバレーボールをやってきたそうです。それでもここまで来られるのです。今からでも決して遅すぎることはありません。精度の高い技術を身につけるために、いまから始めましょう。

(内田 佳彦)

Junior Youth

2月末頃からジュニユースは、学年末テスト期間です。今回は各学校のテスト時期が重なっていたので、久しぶりにまとまったテスト休みを設けました。皆さん、しっかりと勉強できたでしょうか?

サッカーももちろんですが、勉強することは自分の将来にとって非常に大切なことです。サッカーをやっているせいで勉強ができないというのでは話になりません。このような人は、サッカーが上手くなったとしても「良い選手」にはなれないでしょう。日ごろからグラウンドで言っているように日々のトレーニングでの取組む姿勢が大切です。これは勉強も同じです。だからこそ逆にサッカーをやっているおかげで勉強もできるように

なったというぐらいになって欲しいと思います。

さて、テストが終わり、1ヶ月もすると1つ学年が上がります。新学年になるとすぐに「日本クラブユース選手権」の県予選が始まります。その前に「栃木遠征」にも行く予定です。大変なことだと思いますが、サッカーに勉強に遊びに、すべてに頑張りましょう!!

(二木 昭)

小 5・6

[6年生]

少し早いです、6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4月からは、中学生ですね。幼稚園の体操着で「先生、おしっこしたい」と泣きそうな顔をしていた日が懐かしく思い出されます。

みんなには、練習や試合を通じていろんなことを話してきました。

挨拶をする

良い準備をする

100%を出す

やり遂げる

向上心をもつ

失敗を恐れずトライする

失敗から学び、それを次に生かす

中学生になると、1人で乗り越えなければならぬ壁がたくさんでてくることでしょう。壁にぶつかったときは、かながわクラブのコーチたちが言っていた言葉を思い出してください。克服するためのヒントが見つかると思います。

かながわクラブは、1人でも多くの子供たちにサッカーの楽しさを伝えることを目指しています。サッカーの面白さを知ったみんなには、これから先もずっとサッカーを続けてもらいたいと思っています。(ジュニアユースに進んでもらえたら一番うれしいですが…)6年間ありがと、そしてこれからもよろしく!

最後に保護者の皆様、クラブの活動に側面からのご協力を賜りまして、本当にありがとうございました。

これからもお子様の成長を影ながら応援させていただきます。今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

[5年生]

最近の試合では、安定したパフォーマンスに欠けるシーンが目につきます。自信を持ってプレーしているときは本当によいゲームができるので、うまくいかないときが余計に目立ってしまいます。6年生と紅白戦をするなどゲーム形式の練習を多くして、でかい・強い・速い相手とやるときも臆することなく戦える習慣を身につけましょう。君たちは、やればできるんですから！

(鈴木 章弘)

小 4

去年の今頃トリコロールで書いたことは

・パスの出すタイミング

(相手との距離、味方の位置を考えて、どのタイミングでどのコースに出せばいいか?)

・パスのもらう動き方(どの位置だとパスをもらえるか?)

大きく動く。縦横の動きを組み合わせる。スピードの変化をつける。

・パスをもらったらどの方向にボールを止めたらいいか

・ディフェンス(守り)時の体の向き

・ディフェンス(守り)時のポジション(立つ位置、相手との距離、ボールをとりに行くタイミング)

でした。

この頃はドリブルにパスという選択肢が加わった頃だったので、パス中心のことが目標でしたが、1年たった今も目標は変わっていません。

今は「ドリブルする」「かわす(逆を取る)」「止まる」が加わり、この中でどれを選択すればいいのかです。選択するに

は周りの状況を把握する必要があるの
で、常に「顔を上げましょう」といっている
のです。

簡単なのです。顔を上げる 状況を把握(どこが空いていて、誰がフリーで見つける) 手段の選択(止まる、ドリブル、パス)をすればいいのです。

自分のおかれている状況をしっかり考え今なにをしたらいいのか?を自分で考えてみて下さい。練習中、試合中、コーチがヒントを与えているはずで
す。何を言っているのかを理解し自分なりに考え実践して下さい。(益子 伸孝)

小 3

【試合の意義】

試合をすると、それまで練習してきたことがどれくらい子どもたちの中で消化され、そして身につけているのかということの確認ができます。毎回試合の前に「今日のテーマは…」という形でコーチから子どもたちに示されるのが、その日の試合で確認したいポイントになります。もちろん試合に勝つことは大切ですが、自分たちが練習してきたことが最大限に発揮できての勝利が何よりも重要視されるべきで、自分たちの練習してきたことは発揮できたけれども試合には勝てなかった場合でも、それはそれなりに評価できます。

逆に、練習していないことができないのは当然なのに、勝敗に拘るあまり、教えてもらえないことや練習してもらえないことが上手にできないからといって、そのことに腹を立て、何でもかんでも試合に勝てば全て OK で、負けたら腹いせにお説教あるいは無意味なペナルティーを与えるという指導(?)は指導者の怠慢以外のなにもでもありません。

【試合で子どもは成長する】

年が明けてからは試合が多く、個々の課題も浮き彫りになり、その克服のために、また練習や試合に取り組むというサイクルが確立しつつあります。前回も述べましたように、最も効果的な技術練習は実戦(試合)ですので、一日の時

間の経過のなかでも進歩が見られる場合が多くあります。テーマを意識して試合に臨むことで、子どもたち自身が上手にできることとできないことを肌で感じていきます。そして、上手くできなかったことに関して、次の試合の中で自ら修正しようという姿が見られるのです。こうした自ら問題点を意識し、修正し、ステップアップしていく能力が子どもたちには間違いなく備わっているはずで
す。

先日、ある試合で0-8という記録的なスコアで大敗を喫し、そしてその日のうちに、同じ相手ともう一度試合ができることになりました。勝ち負けに拘るなら、絶対に引き受けない試合だったでしょう。しかし、2点、3点と相手に得点を重ねられるにつれて集中力が途切れ、やや投げやりなプレーが目につきました。そこで、その精神的な部分に関してだけは今日中に修正しておきたい気持ちが、指導者としては強くありましたので、敢えて試合を引き受けました。

そして、その日 4 回目のテーマの確認(相手をかかわってからプレーをすること、 逆襲に対してどう守るのかを各自が考えること)を終え、さらにキックオフ直前には、8 点取られた場面を子どもたちに振り返らせました。結論は長いボールを蹴らせなければ良いということになり、ボールをキープしている相手に素早く近づき蹴らせないことを確認して試合が始まりました。8 点取られて負けた相手にその日のうちに再度挑むことなど、普通なら逃げ出したくなる気持ちに駆られても不思議はありません。しかし、結果は1-1のドローに終わりました。

このことは、子どもたち自身が試合の意義をきちんと理解し、勝ち負けよりも、自分たちができることとできないこととの確認と修正に自ら取り組んだ結果だと言えるのではないのでしょうか。

【応援について！】

子どもたち自身が自ら体感でき、考えることができる環境を提供するためには、試合のときに周囲の大人が余計な雑音を発しないことが肝要です。具体的には、感情的な発言や試合に負けて

いることに対する怒りの矛先を子どもたちに向けてはなりません。何点取られても一生懸命頑張っている健気な子どもたちがパニックに陥って冷静な判断ができなくなりますから。

幸いにも現在の3年生のお父様お母様方は、かながわクラブの活動に対してとても理解してくださって、ご協力もいただいています。応援のマナーについても全く問題がありません。しかし、自らを戒める意味もあって、毎回試合の案内の裏側には「応援について」を載せています。基本は、自分の子どもに対して他所の子どもに対しても(相手チームの子どもに対してさえも)、上手にできたことは心から褒めてあげ、上手にできなかったことに対しては励ましてあげることです。(佐藤 敏明)

小 2

2年生の後半から公式戦など徐々に対外試合が増え、ユニフォームの違う相手と試合することにも慣れてきたことと思います。そのような対外試合の中で「絶対に相手に負けない」という気持ちを持っているのでしょうか?相手よりも一生懸命たくさん走っているのでしょうか?もちろんサッカーの技術を身につけることは大切ですが、どんなにすばらしい技術を持っていても勝ちたいという気持ちがなければその技術を十分に発揮することはできません。試合はもちろんですが普段の練習からその気持ちを持って取り組んでいきましょう。

また、対外試合ではさまざまなことにチャレンジしていける場でもあります。練習の中で身につけたフェイントなどをどんどん使ってみてください。できないからチャレンジしないのでは何一つ上達しません。最初はもちろん失敗することもあるかもしれませんがたくさんチャレンジすることでその技術をつかひこなせることができるようになります。そして上手な人のプレーをたくさん見て真似してみましょう。(井岡 靖貴)

幼児・小 1

【試合】

大分前の話ですが、KAZU SC との試合で結構良い成績を残したと聞きました。勝てる試合もあれば負ける試合もあるので、コーチとしては、一喜一憂してられないのですが(やっぱり勝つと嬉しいですけどね。)、子供には、負けたら悔しいという気持ちを強く持って欲しいと思っています。平等だとか、ゆとりだとか社会は都合の良い様に言っていますが、所詮、世の中は競争ばかりです。特に社会人になると...

そういう意味では、スポーツを通して早いうちから、競争に対して、耐性を持つ事は長い人生で、悪い事では無い様に思う訳です。又、次回はもっとこうしようという気持ちは、負けて悔しいという想いから生まれてくるもので、チーム内でも競争意識を持つと、俄然上達が早くなります。

こんな世の中に誰がした!もったのんびりしたい!と私は常々思う訳ですが、ここに生まれた以上どうしようもない。ただご父兄の皆様には、スポーツに関しては、温かい気持ちで子供を見てあげて欲しいとおもっています。

嗚呼!5日から、中東、スーダンに飛ばされます。拳式前に酷い話...。皆様もご自愛を...。(競争苦手です...)

(川島 浩司)

Papas

【新年度登録更新】

19年度Papas登録更新の締切日は間もなく(3月11日)ですが、今年も例年同様にほとんどの方が継続していただけるようでPapasスタッフのみならずクラブ全体の喜びとするところであります。その結果、登録メンバー数はほぼ60人になるものと思われませんが、壮年サッカーを楽しむ同好の士が多いことは大変よいことであります。しかし、その分、グラウンドの狭さやメンバーの多さが気にかかるところであり、メンバーの皆さんに窮屈な思いや行き届かないことがないように、スタッフの努力は当然のこととして、メンバーのご協力を得ながらでき

るところからよりよくしてまいりたいと考えております。今年こそ、グラウンド確保などにご協力を願う場面もあるかと思いますが、その際には、どうぞよろしく願います。また、お気づきの点などあれば、スタッフ

(Papas-owner@yahoo.com)まで遠慮なくお申し出ください。

Papas 掲示板

(<http://www.geocities.jp/kngpapas/>)や、

メーリングリスト
(<http://groups.yahoo.co.jp/group/Papas/>)もどうぞご利用ください。

(茅野 英一)

Mistral

昨年の11、12月は休部してしまい、日々、仕事と家事に追われるばかりで、ゆっくりと考える時間も無くあつとゆう間の2カ月でした。家の中にはボールが転がっているのですがボールに触れる事もなく横目でちらり、今年、久々に練習に参加しのですが頭と体がバラバラでミニゲームでは皆様に迷惑を欠けるばかりで、ああ~ため息出ちゃう。日々の頭を使う練習は本当に大切と実感するばかりでした。(中島 恵子)

ヨーガ

通い始めました!インド政府公認のヨーガ養成講座!!

思っていたよりも規模の大きい講座のようです。同期の養成生は約100名。だだっ広い広間に並んで直に座っているのを見るとなかなか圧巻です。講座は興味深い内容ばかりで講師の先生も話上手なため、丸一日を費やす講座も居眠りなしで聴講することができそうです。が、しかし、大変な難関がありました。なんと宿題がでるのです。それも、自分の心を見つめるといった内容の論文形式のものが、今回の課題のひとつは「普段、あなたの生活の中で心身のバランスを崩しそうな状況について考察しなさい」というもの。考えた末「料理をしていたら、いきなり火災報知器がなってしまったときについて」など考察してしまい

ました。(先日、本当に鳴ってしまったのです。料理にお酒を使うと鳴ることがあるのですね。皆様も気をつけて。)こんなんでいいのかしら? 前途多難です。とにかく、A4 用紙 10 枚に渡る論文を一ヶ月掛かりで書き上げました。厚みのあるインストラクターになるのって大変です。頑張ります。

(伊藤 玲子)

理事長の戯言

昔から私はわりと本が好きです。電車で通学や通勤をしていた頃はしょっちゅう読む時間があっても、この仕事についてからほとんどがクルマ移動のため、腰を落ち着けて物を読む時間がなかなか取れません。それでも一日の最後に、その日をリセットする意味で、夜寝る前に必ず小1時間程度読書の時間を作っています。大抵はミステリーの文庫本です。なかなか寝付けないときには難解な本を読んだりもします。面白くてつつい調子に乗ってしまい、一晩で読破してしまったことも結構あったりします。面白かった本や心に残った本は、やはり皆さんに紹介したくなります。なので今回はこんな内容になりました。なお、書籍紹介文は「Yahoo! ブックス」「amazon」からの引用ですのでご承知おきください。

「容疑者xの献身」東野圭吾 著

これほど深い愛情に、これまで出会ったことがなかった。いやそもそも、この世に存在することさえ知らなかった。運命の数式。命がけの純愛が生んだ犯罪。

「楽園」鈴木光司 著

いつかきつとめぐり逢える。この想いがつづく限り。太古のモンゴル砂漠で暮らしていた男女が、他部族の襲撃により離れ離れになってしまった。伝説の赤い鹿の精霊に導かれた男は、最愛の妻を追う。そして18世紀の南太平洋の小島で、現代のアリゾナの地底湖で...。一万年の時と空間を超え、愛を探

しつづける壮大なファンタジー。第二回日本ファンタジーノベル大賞優秀賞受賞作。

「白夜行」東野圭吾 著

1973年、大阪の廃墟ビルで一人の質屋が殺された。容疑者は次々に浮かぶが、結局、事件は迷宮入りする。被害者の息子・桐原亮司と、「容疑者」の娘・西本雪穂。暗い眼をした少年と、並外れて美しい少女は、その後、全く別々の道を歩んで行く。二人の周囲に見え隠れする、幾つもの恐るべき犯罪。だが、何も「証拠」はない。そして十九年...。息詰まる精緻な構成と、叙事詩的スケール。心を失った人間の悲劇を描く、傑作ミステリー長篇

「時生」東野圭吾 著

不治の病を患う息子に最期のときが訪れつつあるとき、宮本拓実が妻に、二十年以上前に出会った少年との思い出を語りはじめる。どうしようもない若者だった拓実は、「トキオ」と名乗る少年と共に、謎を残して消えた恋人・千鶴の行方を追った。過去、現在、未来が交錯するベストセラー作家の集大成作品。

「TENGU」柴田哲孝 著

1974年秋、群馬県の寒村で起こった凄惨な連続殺人事件は、いったい何者の仕業だったのか? 70年代の世界情勢、さらに2001年9.11米同時多発テロ事件にまで連関する壮大なミステリー!

同じ作者ばかり並んでしまいましたが、東野圭吾氏の作品はさらっと読める感覚が好きです。「楽園」は自分の心が時空を駆け巡る気がします。「TENGU」は一晩で一気に読んでしまいました。

でも、あくまでも私個人の好みです。これで私という人間が、皆さんに少しわかってしまうような気がするのが恥ずかしいです。「今更」と言われそうですが...

(内田 佳彦)

